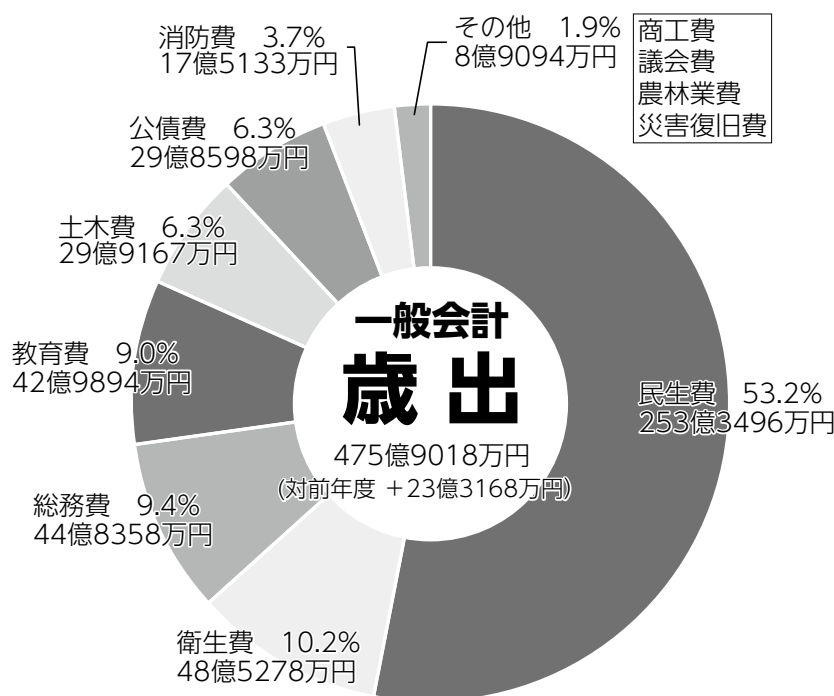


令和5年度決算報告

市の決算において、家計における収入・支出・借金・貯金にあたる、歳入・歳出・市債・基金の状況から、令和5年度一般会計の決算についてお知らせします。

固財政課（内線335）

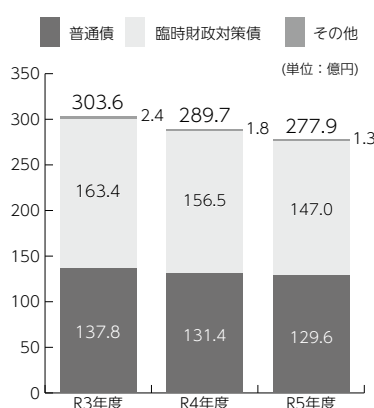


■市民一人当たり計算すると

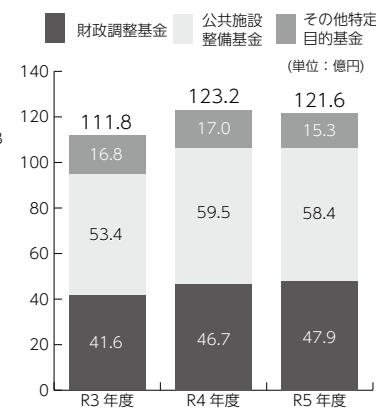
令和5年度の一般会計決算を、今年3月31日現在の住民基本台帳人口に基づき、市民1人当たりの額に換算すると下表のとおりになります（目的別の額）。

民生費 237,708円	衛生費 45,532円	総務費 42,068円	教育費 40,335円
公債費 28,016円	土木費 28,070円	消防費 16,432円	商工費 1,529円
議会費 2,922円	農林業費 3,161円	災害復旧費 748円	合計 446,521円

■一般会計の市債残高の状況



■一般会計の基金残高の推移



用語チェック！

市債 国や金融機関から借り入れたお金

実質収支 歳入歳出の差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を除いた収支額

基金 公共施設の建て替えなど、決められた目的で使うために積み立てているお金

※その他の詳しい用語解説については右上図（総務省ウェブサイト）をご覧ください。

財政状況を「見える化」した資料を公表しています



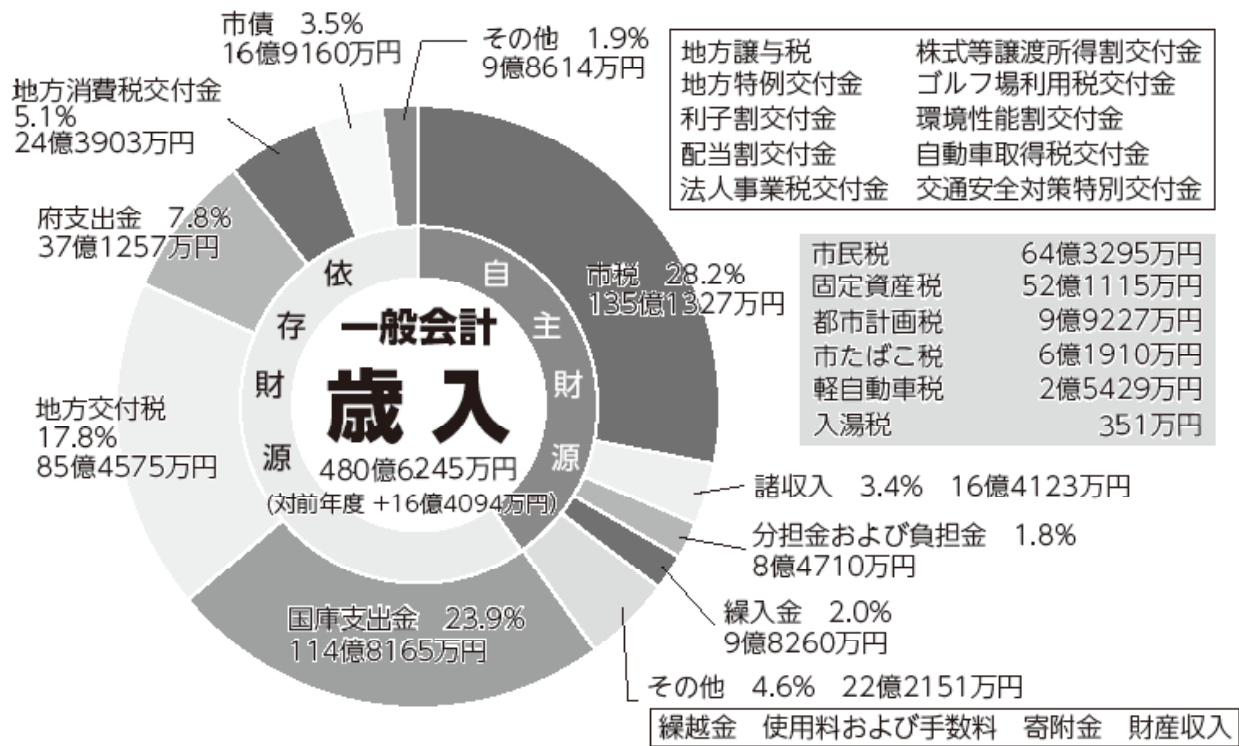
本市の財政状況を表す数値や指標を、図表などを用いてわかりやすく解説した資料を令和4年度決算分まで公表しています。地方公会計制度に基づく財務書類とあわせて、市ウェブサイト（財政課のページ）でご覧いただけます。

なお、令和5年度決算の「見える化」資料と財務書類についても、作成次第、市ウェブサイトにて公表します。

■会計別歳入歳出決算状況

(単位：万円)

区分	歳入	歳出	差し引き	繰り越し	実質収支
一般会計	4,806,245	4,759,018	47,227	2,472	44,755
財産区	4,365	4,365	0	0	0
国民健康保険事業	1,231,642	1,227,136	4,506	0	4,506
介護保険事業	1,200,556	1,199,062	1,494	0	1,494
後期高齢者医療事業	231,352	225,766	5,586	0	5,586
南河内広域行政共同処理事業	15,755	15,517	238	0	238
計	2,683,670	2,671,846	11,824	0	11,824
合計	7,489,915	7,430,864	59,051	2,472	56,579



令和5年度に実施した主な事業

- ・**とんぼる TONPAL (多文化共生・人権プラザ) の整備** ≪4億 2463 万円≫
- ・**金剛ふるさとバスの運行** (令和5年 12 月～) ≪2792 万円≫
- ・**見守りおむつ定期便事業の実施** (令和6年 1 月～) ≪833 万円≫



◆その他実施事業一覧

事業内容	費用
新庁舎建設事業 (建設工事の着手や仮移転にかかる業務)	4 億 9027 万円
新型コロナウイルスワクチンの接種	5 億 1384 万円
金剛地区の ウォーカブルな空間づくりの実施	1 億 745 万円
物価高騰対策として 水道基本料金 (2 カ月分) を減免	7785 万円
物価高騰対策として 小学校給食費 (2 ～ 3 学期分) を無償化	1 億 2896 万円
物価高騰対策として 中学校給食費 (30 食分) を無償化	1789 万円
物価高騰対策として 各事業者、団体などに支援金を給付	1 億 3343 万円
戸籍証明書のコンビニ交付サービスの実施	1438 万円

健全化判断比率は引き続き、健全な状態を維持

■本市の令和5年度健全化判断比率

指標	本市比率	早期健全化基準 ※4
実質赤字比率 一般会計などの赤字の割合を示した指標	— ※ 1	12.12%
連結実質赤字比率 国民健康保険などの公営事業会計も含めた赤字の割合を示した指標	— ※ 1	17.12%
実質公債費比率 市債 (市の借入) の償還による財政負担の度合いを判断する指標	-0.7% ※ 2	25.00%
将来負担比率 自治体が標準的な行政活動を行うために必要な一般財源総量に対する将来的な負担 (市債などの借入残高) の割合を示した指標	— ※ 3	350.00%

- ※ 1 全会計の実質収支の合計で赤字が発生しておらず数値がないため、「—」表記。
- ※ 2 令和3年度～令和5年度の3カ年平均の数値。
- ※ 3 将来の負担が発生していないため、「—」表記。
- ※ 4 この数値を上回ると、法的に財政の健全化に取り組まなければならないと国が定めている基準。

令和5年度

水道事業・下水道事業会計決算報告

岡上下水道総務課（公24）1201

水道事業

災害対策事業として、向陽台・小金台、下佐備水道管布

代替え工事等を、老朽化対策事業として、寺池台・高辺台水道管布代替え工事および北部配水池更新工事を行いました。

水道事業収益（収益的収入）は、前年度比で5・1%の減となりました。

なお、給水収益については、物価高騰に伴う支援対策とし

て水道料金の減免を行った期間が前年度より半年間短かったため、前年度比で13・0%の増となりました。

水道事業費用（収益的支出）は、動力費、受水費および資産減耗費の減などにより、前年比で4・0%の減となりました。

この結果、収益的収支は1億7831万円の純利益が生じたので、前年度繰越利益剰余金2億5426万円と

その他未処分利益剰余金変動額1億1686万円をあわせ令和5年度末の当年度未処分利益剰余金は、5億4943万円となります。

また、資本的収支の不足額8億7919万円は、当年度分消費税資本的収支調整額1億1096万円、建設改良積立金1億円および過年度分損益勘定留保資金6億6823万円で補てんしました。企業債の年度末残高は46億581万円です。

下水道事業

下水道事業収益（収益的収入）は前年比で微増、なお使用料収益については前年比で

1・5%の減となっています。下水道事業費用（収益的支出）は前年比で、2・8%の増となりました。

この結果、収益的収支9072万円の純利益が生じました。前年度繰越利益剰余金の2534万円をあわせた令和5年度末の当年度未処分利益剰余金は、1億1606万円となります。

また、資本的収支については、収支差額に年度間調整を加えた差し引きで9億4968万円の不足が生じたので、当年度分消費税資本的収支調整額4691万円、過年度分損益勘定留保資金1061万円、当年度分損益勘定留

保資金7億7828万円、繰越利益剰余金処分額2534万円および当年度利益剰余金処分額8854万円で補てんしました。

企業債の年度末残高は127億4872万円です。

■未整備地域の早期解消をめざして

下水道事業は、生活排水の100%適正処理を早期に達成するために、公共下水道事業と公共浄化槽整備推進事業の2つの手法を活用し、生活排水処理施設の整備を進めています。投資を抑制し、効率性の高い浄化槽を併用することで、本市の生活排水対策全体の財政リスクの低減を図っています。

公共下水道事業

・大井処理区5・76ha、狭山処理区1・64haの汚水面整備を実施

※令和5年度末の処理区域内人口は10万578人（前年度10万1584人）と減少し、人口普及率は94・4%（前年度94・3%）となりました。

公共浄化槽整備推進事業

・18基の公共浄化槽を設置

(単位：万円)

水道事業会計決算

収益的収支 (消費税抜き)	資本的収支 (消費税含む)
収益	収入
営業収益 179,904	企業債 50,000
営業外収益 53,337	工事負担金 2,759
特別利益 59	固定資産売却代金 1,370
	他会計繰入金 1,240
	その他資本的収入 7,162
計 233,300	計 62,531
費用	支出
営業費用 206,991	建設改良費 135,740
営業外費用 5,659	企業債償還金 14,709
特別損失 2,819	投資 1
計 215,469	計 150,450
当年度純利益 17,831	差し引き △87,919

水道事業貸借対照表

借方	貸方
資産の部	負債の部
固定資産 2,394,697	固定負債 494,098
流動資産 254,727	流動負債 84,832
	繰延収益 882,872
計 2,649,424	計 1,461,802
	資本の部
	資本金 982,542
	剰余金 205,080
	計 1,187,622
合 計 2,649,424	合 計 2,649,424

(単位：万円)

下水道事業会計決算

収益的収支 (消費税抜き)	資本的収支 (消費税含む)
収益	収入
営業収益 138,738	企業債 43,720
営業外収益 161,102	分担金 970
特別利益 1,467	負担金 65
	他会計出資金 31,383
	補助金 13,542
計 301,307	計 89,680
費用	支出
営業費用 271,239	建設改良費 71,328
営業外費用 20,996	企業債償還金 112,737
特別損失 0	
計 292,235	計 184,065
当年度純利益 9,072	差額 △94,385
	年度間調整 △583
	差し引き △94,968

下水道事業貸借対照表

借方	貸方
資産の部	負債の部
固定資産 4,329,360	固定負債 1,174,747
流動資産 107,345	流動負債 176,537
	繰延収益 2,015,857
	計 3,367,141
	資本の部
	資本金 917,064
	剰余金 152,500
	計 1,069,564
合 計 4,436,705	合 計 4,436,705